

# EA993RD-6(ホイールドーリー)取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

- 当製品はトラック、バス、トレーラー等のタイヤとホイールの組品を簡単に取り外し、及び設置するための工具です。

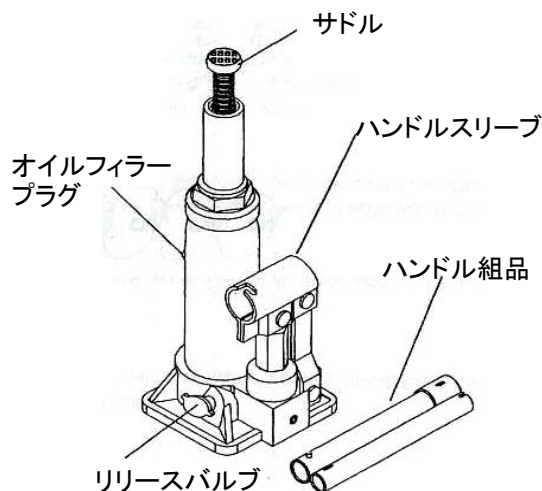
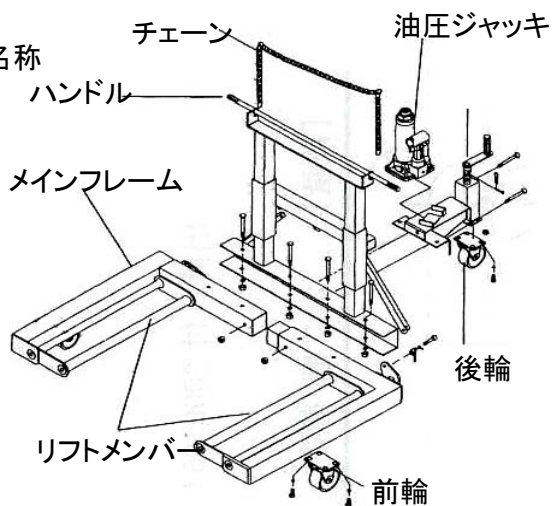
## ◆仕様

- 能力 750kgまで
- アーム間サイズ 24”(61cm)
- リフトレンジ 8～23cm
- 傾斜レンジ -2.5°～10°

## 警告

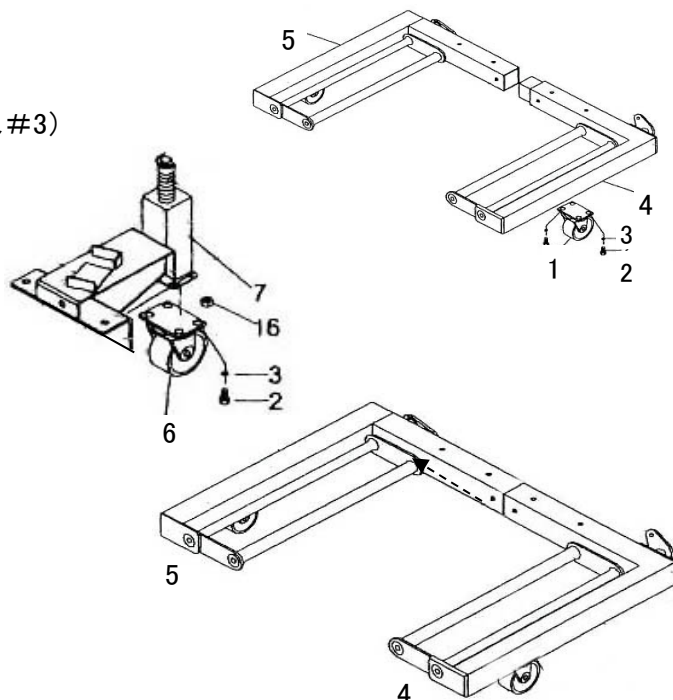
- ・当製品の取扱説明書の警告と使用方法をよく読んでご理解ください。
- ・能力を超えた使用をしないでください。
- ・作業に使用する前に当製品の操作に慣れるようにしてください。
- ・負荷を支えるために滑らかで固い水平な表面上で使用してください。
- ・動かす前にタイヤは一番低い位置にあり、タイヤは中心に揃えられており、工具にしっかりと止められていることを確認してください。
- ・タイヤはできるだけリフトメンバーに対して垂直にして持ち上げてください。
- ・当製品は加工しないでください。

## ◆各部の名称



## (組み立て方法)

- 1.前輪(#1)を左メインフレーム(#4)と右メインフレーム(#5)に取り付けます。  
M8X16ボルトとワッシャーを使用します。( #2& #3)
- 2.後輪(#6)をリアサポート(#7)に取り付けます。  
M8X16ボルトとワッシャー、ナットを使用します。( #2,3&16)
- 3.左メインフレーム(#4)に右メインフレーム(#5)を差し込みます。



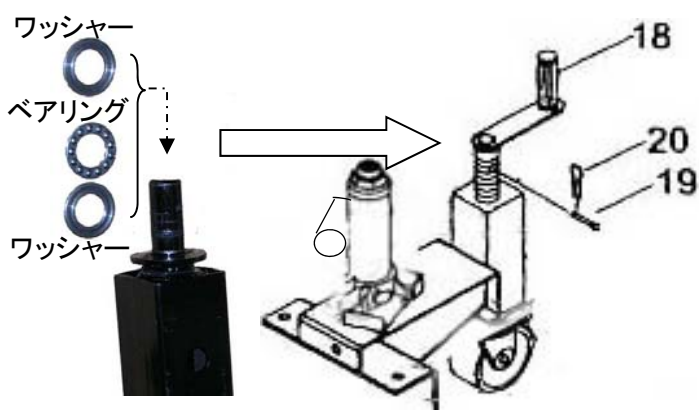
4.3で組み立てたメインフレームの組品を縦フレーム(#8)に取り付けます。  
先に4箇所中、両脇の2箇所をM14X110ボルト、ワッシャー、ナットを使用して止めます。  
(#9,10&11)

次に後輪(#6)とリアサポート(#7)の組品を残りのM14X110ボルト、ナット、ワッシャー(#9,10&11)とM12X100のボルト、ナット(#12&13)を使用して止めます。

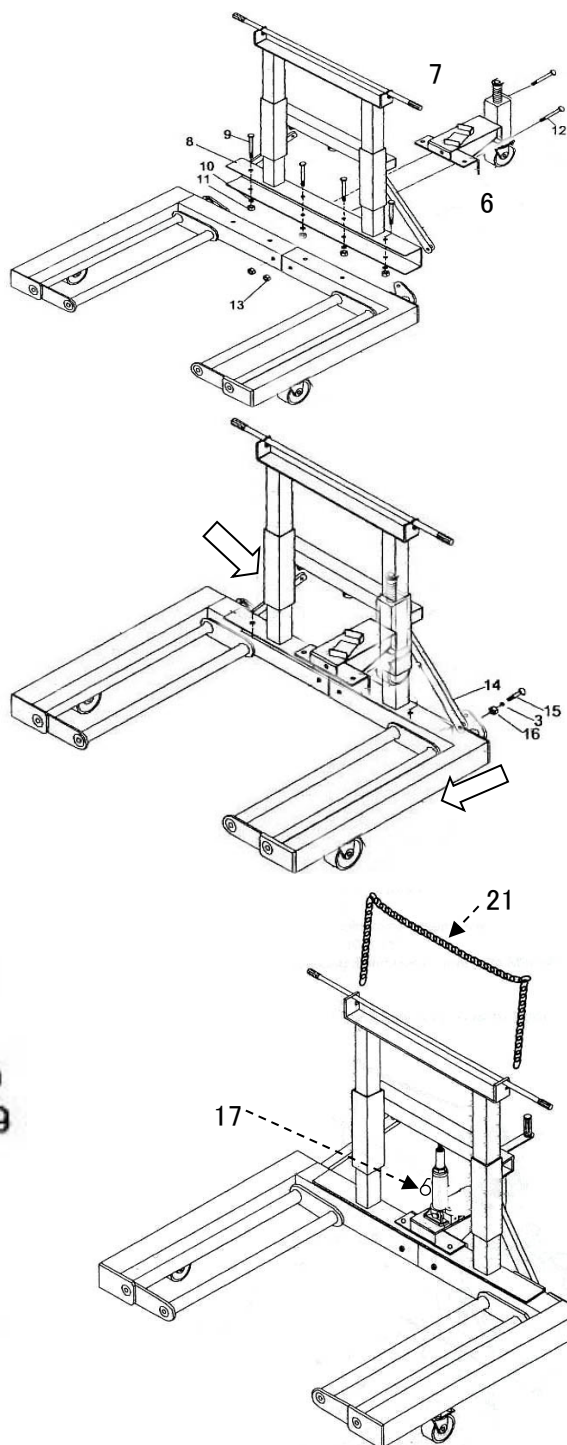
5.リフティングストラップ(#14)をメインフレームのイヤーに取り付けます。  
M8X34ボルトとワッシャー、ナットを使用します。( #3,15&16)  
(左右フレームとも)

6.油圧ジャッキ(#17)をロードレベラーの上に置きます。

7.リアサポート(#7)の軸にワッシャー、ベアリング、ワッシャーの順ではめておきます。  
ハンドル(#18)を取り付けます。  
ボルトとピン(#19&20)を使用します。



8.チェーン(#21)を縦フレームに取り付けます。

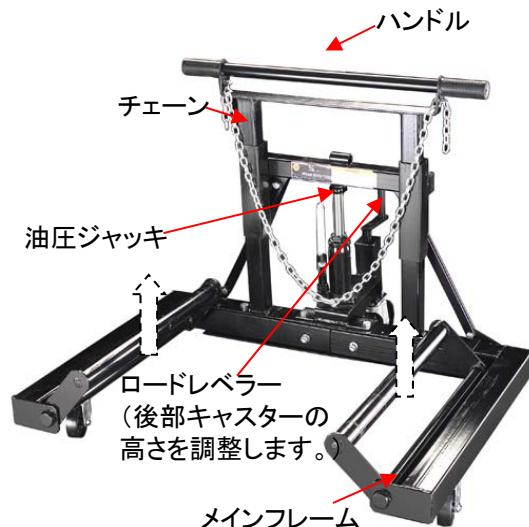


◆使用前に

- 1.使用する前に機器にゆがみ、ひび割れ、オイル漏れが無いか確認してください。  
キャスター、ローラー、リフトアームが自由に動くことを確認してください。  
機器にゆるみが無いか確認し緩みがあるときは、締めなおしてください。
- 2.製品が使用目的にあっていることを確認してください。
- 3.タイヤ交換の手順は、自動車のマニュアルに準じてください。
- 4.ジャッキを十分に降下させオイルフィルタープラグを外します。  
これにより、油圧ジャッキのリザーバーの中に溜まった空気を排出することができます。  
油圧オイルのレベルを点検します。プラグの穴の下までオイルがあるのが適正です。
- 5.オイルフィルタープラグを戻します。

#### ◆使用方法

1. 乗り物のサイドブレーキをかけ、反対側のタイヤ両方に車止めを施します。  
必要な予防措置をセットアップごとに行うことで安定させ対象車両の予期せぬ滑りや動きを防止します。
2. タイヤとホイール組品を外す準備ができれば、ホイールドローリーをタイヤとホイールの組品を受ける位置に動かし、チェーンでタイヤをしっかりと固定します。
3. ジャッキハンドルを使って、ジャッキのリリースバルブを時計方向に回して締めます。  
**締めすぎないでください。**  
ジャッキハンドルをジャッキスリーブに差し込み、リフトアームが希望する高さまでジャッキのハンドルを上下操作します。
4. ロードレベラーを使用してドローリーが動かせるよう準備します。  
ハブから負荷のかかったホイールドローリーを注意して動かしてください。
5. タイヤを取り付ける場合は逆の手順で行ってください。



#### ◆メンテナンス

- 重要: 良質の油圧オイルを使用してください。**  
異なるタイプの油圧オイルは使用しないでください。  
ブレーキフルード、タービンオイル、トランスミッションフルード、  
モーターオイル、グリセリンは絶対に使用しないでください。  
不適切なフルードはジャッキの予期せぬ不良や突然の負荷ロスを起こす可能性があります。

#### ◆オイルの追加

1. サドルを十分に下げ、ポンプのピストンも十分に下げます。  
ジャッキとレバーピストンはまっすぐに立て、オイルフィルタープラグを外します。
2. オイルフィルタープラグの穴の下までオイルが来るように、油圧オイルを注入します。  
再びオイルフィルタープラグを戻してください。

#### ◆オイル交換

最良の状態を維持するために1年に1度は完全にオイルを交換することをお勧めします。

1. サドルを十分に下げ、ポンプのピストンも十分に下げます。ジャッキとレバーピストンはジャッキとレバーピストンはまっすぐに立て、オイルフィルタープラグを外します。
2. ジャッキを横に倒し、コンテナのフルードを完全に排出します。(廃液は適切に処理してください。)
3. 良質の油圧オイルを充填します。オイルフィルタープラグを戻します。  
(Mobil DTE 13同等の油圧オイルをお勧めします。)

**注意:** 1. ピボットポイント、軸、ヒンジ部に軽くオイルを塗布し、錆の発生を予防しポンプ組品が自由に動くことを確認してください。

2. 定期的にポンプピストンやラムをチェックし、錆や腐食がないかを確認してください。  
必要に応じてオイルを浸した布できれいに拭いてください。  
ラム、ピストンの表面にサンドペーパーややすり等を使用しないでください。

- ◆保管 使用しないときはジャッキのポンプピストンとラムは十分に下げて置いてください。

◆トラブルシューティング

状況	原因	解決
・ジャッキが荷物を持ち上げない。	・リリースバルブがしっかりと締まっていない。 ・過負荷状態である。	・リリースバルブをしっかりと締める。 ・過負荷状態をなくす。
・ジャッキが持ち上がった後に下がる。	・リリースバルブがしっかりと締まっていない。 ・過負荷状態である。	・リリースバルブをしっかりと締める。 ・過負荷状態をなくす。 ・修理を受ける。
・ジャッキがから荷をとった後、ジャッキが下がらない。	・油圧タンクのオイルが多すぎる。 ・リンクの噛み込み	・適切なオイルレベルにするため余分のオイルを排出する。 ・可動部をきれいにし注油する。
・リフトが悪い。	・油圧オイルのレベルが下がっている。 ・システム内に空気がたまっている。	・適切なオイルレベルにする。 ・ラムを十分に下げオイルフィルタープラグを外し空気を排出させる。 ・オイルフィルタープラグを戻す。
・リフトが十分に伸張しない。	・油圧オイルのレベルが下がっている。	・適切なオイルレベルにする。

株式会社 エスコ  
 本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14  
 TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929



分解图

